

学校だより

No.10

# 創造芳泉

～ いきいき わくわく 楽しい学校 ～

平成30年2月14日

岡山市立芳泉小学校・ひばり分校

<http://www.city-okayama.ed.jp/^hosens>

<http://www.city-okayama.ed.jp/^hibaris>



## 「命を守る」という3つのお話



1つ目は、インフルエンザから命を守るということです。あなたがインフルエンザになると、実は、あなたと見ず知らずのお年寄りの命にも関係するかもしれないのです。

今から30年ほど前までは、小学校で、インフルエンザの予防のための注射をすることになっていて、ほとんどの人が学校で注射をしていました。だから、学級閉鎖になることは、まずありませんでした。そして、その頃にお年寄りがインフルエンザで亡くなる割合と、今とでは、今の方が、お年寄りの亡くなる割合が高いと言われています。

あなたが、インフルエンザにかかると、それがいろんな人にうつり、そのリレーの先で、お年寄りにうつって、命を失うことにつながっているのかもしれないかもしれません。あなたの健康は、あなた一人だけの問題ではないということです。見ず知らずの誰かのためにも、手洗い、マスクをするなどして、外出を控えてください。あなたとお年寄りの命も守ってください。

2つ目は、交通事故から命を守るということです。先週、岡山市の隣の町で、交通事故で、学校から帰る途中の小学生が亡くなるということがありました。その人は、交通ルールをきちんと守っていましたが、車と車がぶつかって、追突された車が歩道に突っ込んで何人もの人がケガをしました。そのうちの一人が亡くなったというものです。

登下校などで、道を歩くときは、普通に走っている車でも突然、何かの拍子に飛び込んで来ることもあるということを頭に入れておいてください。周りに気をつけて、寒くても手を出して歩くことで、一瞬でも早く避けることができます。どんな道でも、絶対に安心なところはありせん。話や遊びで夢中にならず、自分と友達の命を守って登校してください。

最後の3つ目は、イジリ（いじめ）から命を守るということです。校長先生が中学生だったとき、クラスでイジリがありました。いつも、いじられた彼は笑っていたので、特にそれを気にしていなかったし、時には、自分も調子に乗って彼をいじったりしていたと思います。

ある朝、事件が起きました。彼に対して、ドッキリをクラスの人が仕掛けたのです。彼は、そのドッキリをいつものように笑ってすませましたが、先生に伝わって、ものすごく怒られたことを覚えています。でも、そのときは、そんなに悪いことなのか、よく分かりませんでした。

それから10年ほどたったある日、新聞に、そのドッキリと同じことをクラスでされて、中学生が自ら命を絶ったというニュースが載っていました。そのとき、急にあの日のことを思い出して、担任の先生が本気で怒っていたその気持ちが分かりました。そして、彼が笑って済ませてくれて、本当に良かったと思いました。

イジリやいじめは、それを受ける相手の気持ち次第なのです。たとえ、鉛筆1本のことでも、重く感じる人もいるし、日によっては、重く感じる時があるのです。される相手の気持ちを思い浮かべながら、行動してください。小学生だからと言って許されないこともあります。自分の命も相手の命も守ってください。（全校 TV 朝礼でのお話です）

## 社会へようこそ 6年生 租税教室

1月26日に、6年生の各クラスで、外部講師によって税金について学ぶ「租税教室」を行いました。いろいろな場所で払ったお金が社会の中で税金や国や市の予算などとして循環することを学びました。



## ひばりへようこそ 1・2年生 なかよし祭り



1月30日に、2年生が、来年度ひばり分校にやってくる1年生を招いて「なかよし祭り」を行いました。自分たちでそれぞれお店を出して、工夫して作った遊びで1年生に遊んでもらい、楽しい時間を過ごしました。

## 芳泉小へようこそ 1年生 むかしあそび

2月7日に、1年生が、芳泉幼稚園、かわい保育園、ひばり保育園の幼児を招いて、「むかしあそび」の会を行いました。1年生と幼児がペアを組んで、だるま落としやお手玉などいろいろな遊びを一緒に行いました。



## 心を1つに 全学年 長なわ集会



2月8日に、インフルエンザ流行のため延期されていた集会委員会による「長なわ集会」が行われました。クラスで心を一つにして励まし合って飛んでいた姿が印象的でした。（逆さからもどうぞ→）

